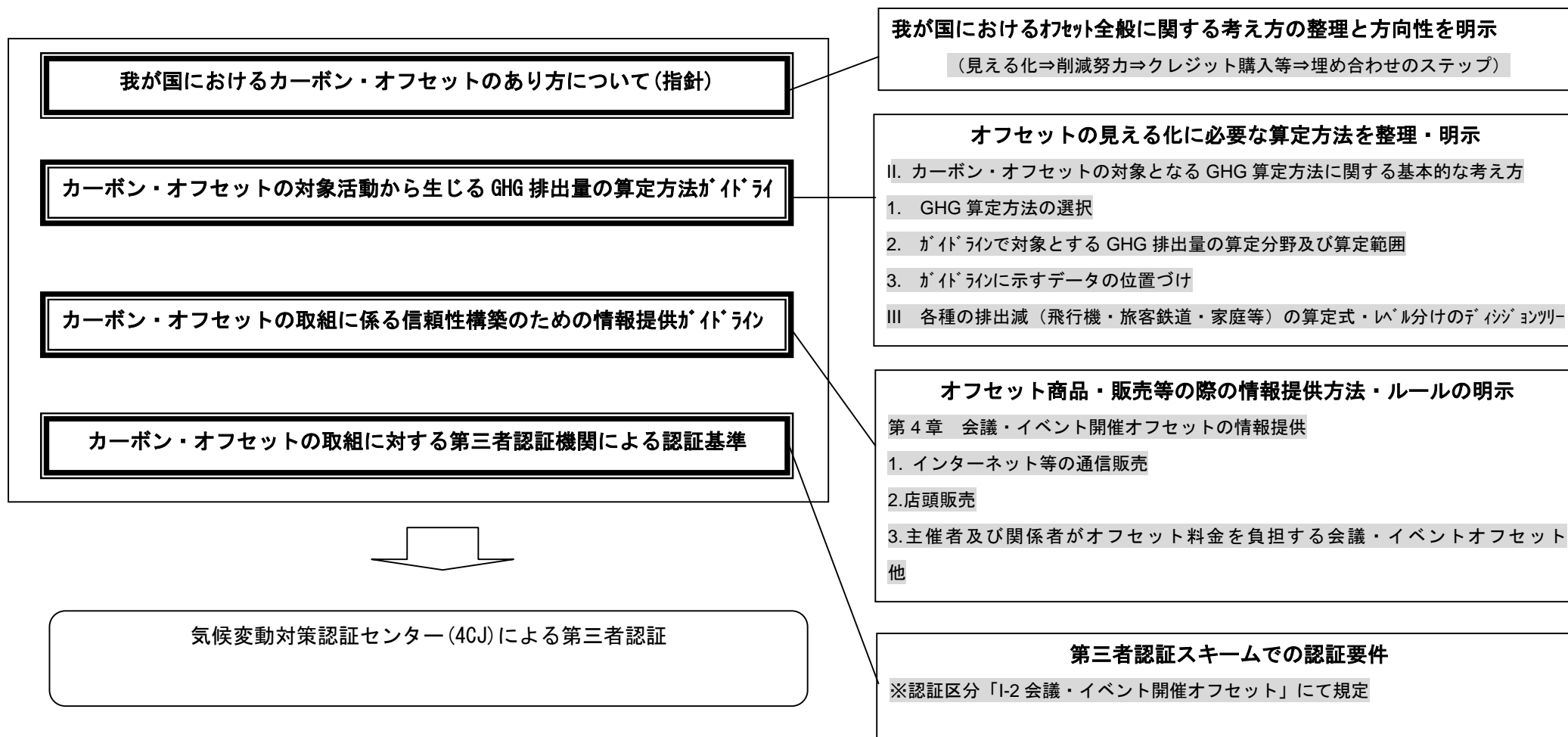


会議・イベントにおけるカーボン・オフセットに係る基準類の整理と課題

1. カーボン・オフセットに関する基準類とそれぞれの規定範囲と会議イベントに関連する事項



2. 会議・イベントの実務との比較において課題が存在すると考えられる潜在的な個所

(1) 会議・イベント準備段階において入手できる情報の量・質が限定されている（実際の想定と実施の際の情報量・質とのギャップがあることが多い）

⇒ 工場で生産される製品や繰り返し提供されるサービス等と異なって、事前の算定（見える化）の不確定要素が大きく、一つのハードルとなっている。

(2) 会議・イベント実施段階において情報が入手できないといった事態がしばしば存在する。

⇒ 工場で生産される製品や繰り返し提供されるサービス等と異なって、事後の算定においては固有のデータの収集が困難な場合が多くある。

⇒ 時間的な限定範囲が大きい中で、関係者が複雑であることが、固有データの収集のハードルを高くしている。

(3) タイミング・媒体等の制約条件から情報提供について十分に行うことができないことがある。

⇒ 会議・イベント自体の準備の過程と、オフセットの準備の過程が必ずしも同時に始まるわけではなく（多くの場合、オフセットは直前に決定することが多い）、十分な形で行えない場合がある。